

米ジューールの電子たばこ、国内での販売禁止を F D Aが命令

6/24(金) 8:19 配信 531  

Bloomberg



(ブルームバーグ)：米食品医薬品局（F D A）は23日、米市場に現在出回っているジューール・ラブズの全製品について販売を禁止する命令を出した。大手たばこ企業やシリコンバレーの投資家に一時人気を誇った米電子たばこメーカーの同社にとって大打撃となる。

Photographer:
Bloomberg/Bloomberg

F D Aは声明で、ジューールは製品の販売・流通を停止する必要があるとした上で市場にある製品の撤去を命じ、そうしなければ法執行措置が講じられる恐れがあるとした。F D Aのカリフ長官によると、10代の若者による使用増加が電子たばこに関するF D Aの徹底的な調査の契機になった。

カリフ長官は声明で、「F D Aは米市場の大半を占める企業の製品を対象とする調査に多大な資源を投入した」と指摘。「これら企業が入手可能な製品のかなりの部分を担い、多くの企業は若者の電子たばこ使用増加で非常に大きな役割を演じた」とコメントした。

ジューールのジョー・ムリリヨ最高規制責任者（C R O）は電子メールで配布した発表文で、同社は今回の決定に不服だとした上で、「決定への異議申し立てや当局との協議を含め、F D Aの規制・法律の下であらゆる選択肢を探る」と説明した。

従来型のたばこは早死にの大きな要因となっており、当局者は電子たばこが大人の禁煙を後押しすると期待していた。だが一部の公衆衛生当局者は電子たばこが10代に一段と普及し、急性肺障害など電子たばこに関連する健康リスクもあると警告した。

原題：

Juul's E-Cigarettes Are Ordered Off the Market in the US (2) (抜粋)

米電子たばこ大手ジュー、 「販売禁止」の決定に反発

6/24(金) 17:15 配信 6  

Forbes JAPAN



米食品医薬品局（FDA）は先ごろ、電子たばこ大手ジュー・ラブズ（Juul Labs）の製品の販売禁止を決定した。一時は米国のベーピング（液体を蒸発させて吸引する電子たばこ）製品市場でシェア70%以上を支配したスタートアップの今後を、一変させたと言えるかもしれない。

Diego Cervo / Shutterstock.com

FDAは発表した声明で、ジューは自社製品の販売が「公衆衛生の維持において適切である」ことを証明できなかつたと指摘している。FDAはすでに、フルーツまたは甘味のあるフレーバーの販売を禁止。電子たばこ各社に対し、メンソールやたばこのフレーバーなどについて、今後も販売を認めるべきか判断するため、適切なデータを提出するよう求めていた。

だが、FDAによると、カートリッジに含まれる可能性がある有害な化学物質についてジューが示したデータは不十分であり、“矛盾するもの”も含まれていたという。そのため同社の製品について、完全な評価を行うことができなかつたと説明している。

■ジューは不服申し立てか

こうしたFDAの発表についてジュー側は、「失礼ながら同意しかねる」としている。同社のジョー・ムリーリョCEOはフォーブスに対し、ジューがFDAに提供したデータは、「公衆衛生の維持に適切」であることを示すのに必要な基準を満たしたものだと主張。禁止命令の停止を求めるほか、法律の下で認められる“あらゆる選択肢”を探査すると述べている。

FDAのこの決定について、販売禁止の可能性を最初に報じた米紙ウォール・ストリート・ジャーナルは、ジューは禁止を不服として申し立てを行うほか、法廷で争うこと、製品に関するデータを修正して提出することなどができるだろうと伝えている。

ジューは自社の製品が未成年者の喫煙を急増させるきっかけになったなどの批判を受け、一部のフレーバーの販売中止に加え、マーケティングを控えるなど、世間のイメージを回復するための対策を講じていた。

一方、同業他社の製品については、今のところFDAの評価の結果が出ていないものもあり、

それらは当面、販売の継続が認められている。

■評価額は「暴落」

ジユールが2018年に最後の[資金調達](#)を行った際、評価額は380億ドル（約5兆円）とされていた。だが、同社株の35%を保有する米たばこ大手アルトリアは2020年、推定されるその価値を、45億ドルをわずかに上回る程度にまで引き下げている。

若者間におけるベーピングの流行を問題視したFDAが対応に乗り出したこと、ジユールがマーケティング戦略に関して複数の訴訟を起こされたことが、主な要因とされている。

米国心臓協会や米国肺協会をはじめ、ジユールを非難する医療関連の団体は、同社は若者たちをターゲットとしたマーケティングの戦術として、「電子たばこは従来のたばこより害が少ないことを示唆するなどしてきた」と批判していた。